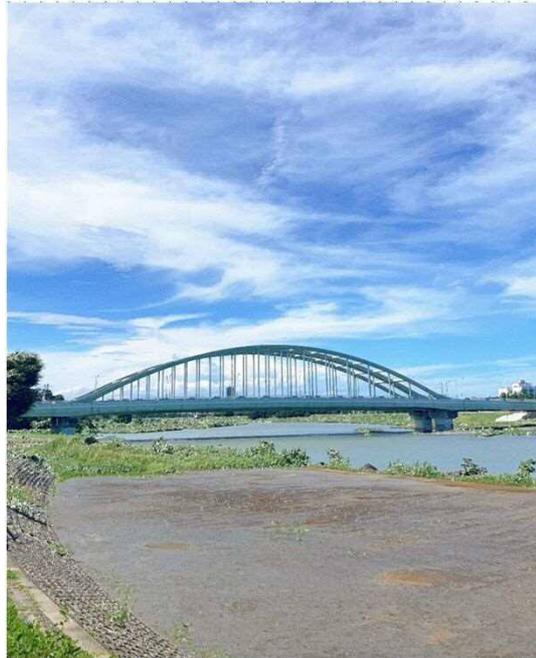


多摩川河川敷（登戸地区）の利活用について



登戸地区広場

川崎市と小田急電鉄株式会社は、多摩川河川敷エリア登戸地区広場周辺で、バーベキュー利用者によるゴミの不法投棄等の課題解決や水辺のにぎわい創出に向けて取組を行っています。



1 背景・経緯等

例年、GWから秋頃、多くの方が当該地区でバーベキュー等を楽しんでいます。その中では、バーベキューのレンタル専門事業者により占用され、他の方が利用できない状況が生じていること、当該地や周辺の住宅街へのゴミの不法投棄や騒音等の課題が散見されます。



こうした課題等の解決に向けて取組を開始しました！（詳しくは裏面⇒）

2 多摩川利活用イベント「多摩川・登戸 カワノバ」の実施（令和3年11月27日（土））

川崎市と小田急電鉄株式会社は、登戸地区広場周辺で水辺のにぎわい創出の検証や地域の皆様や関係企業・団体等と連携し、現状の課題と多様なニーズに対応した多摩川河川敷の利活用を検討していくことなどを目的とした利活用イベント「登戸・多摩川 カワノバ」を開催しました。

当日は、ストリートカルチャーとして育まれてきたスケートボード等の無料体験会やプロスケーター等によるパフォーマンスを実施したほか、フリースロー体験、河川敷活用について興味を持っていただいた地域店舗による飲食物の提供、フリーマーケットや各種PRブースなどを展開し、約1,000の方に御来場いただきました。

本イベントを通じ、参加者や近隣住民の方々からアンケートの御協力をいただき、今後の取組の参考とさせていただくとともに、引き続き、地域の皆様や関係企業・団体等とともに、恒常的な利活用とにぎわいや交流の創出に取り組んでいく予定です。



3 地域意見交換会「カワノバを語る場」の実施（令和4年1月～2月）

多摩川利活用イベント「カワノバ」に御協力いただいた方々の他、市HP、町会への掲示、近隣へのポスティング等にて多摩川に関心のある方等を募集し、魅力的な多摩川河川敷の創出に向けて、第1回を1月26日（水）に、第2回を2月8日（火）に、それぞれ昼の部、夜の部、2部制にて意見交換会を実施しました。

第1回では、ワークショップを実施し、御参加いただいた方々から、様々なアイデアをいただき、第2回では、第1回でのアイデアを具体化するため、どういった取組ができるか等、意見交換を実施させていただきました。

登戸の魅力になるような特徴のある利活用やトレーラーハウス等を用いて居心地のよい空間にしたい、バスケットやスケートボード等の様々なスポーツができるとよい、利活用を進めるには事業性が成立することや管理運営体制の構築が必要等の御意見をいただきました。



「カワノバを語る場」ワークショップの事務局集約結果

総論：多摩川を利活用して、多様な世代が気軽に集える魅力的な空間へと変えていく

生活環境への対応

- 1 顕在化している環境面の課題改善
#ごみ #バーベキュー #騒音 #夜の暗さ #治安

利用環境の向上

- 2 より多くの人たちが来訪、あるいは活用できる仕組みづくり
#分かりにくい使い方 #自由な出入り #オープンな空間 #コミュニティ拠点 #トイレ #設置

滞在環境の向上

- 3 魅力を感じられるコンテンツづくり
#地域の巻き込み #独自アクティビティ #屋外で価値アップ #生田緑地や泊江との連携

安心・安全な周辺環境

- 4 アクセスを含めた周辺環境の向上
#横断時の怖さ #駐輪場不足 #多摩川までの分かりやすさ #子供で賑わう場

5 1～4を下支えする、持続可能な取組に向けた運営体制の構築

※記載内容については「カワノバを語る場」第1回ワークショップで出た意見・議論を集約したものであり、今後の実施を約束するものではありません。

4 今後の取組について

- 現状が草地広場であることから、イベント時等の飲食が快適にでき、様々なスポーツができる環境の整備に向けて一部を舗装する（令和4年4月工事着手予定）など、利活用の多様化を図ります。
- 地域の方々と連携を図りながら、本年夏頃に社会実験を行った上で、事業性の検証や管理運営体制の構築、等の検討を進めてまいります。



取組に御協力いただいた皆様ありがとうございました。
アンケート結果等の詳細は二次元コードを御参照願います！

【問合せ先】

川崎市建設緑政局緑政部多摩川施策推進課 貝原 044-200-0511
小田急電鉄株式会社エリア事業創造部 二ノ宮 03-3349-2133